

この度、令和4年度大阪体育学会学会賞を受賞しました森ノ宮医療大学の小田啓之と申します。この度は、名誉ある賞を受賞できたことを大変嬉しく思います。共同研究者の先生方に厚く御礼申し上げます。

本論文は、アキレス腱断裂経験者を対象に、断裂脚と非断裂脚のアキレス腱のスティフネス（硬さ）とアキレス腱の弛みを明らかにし、これまで我々が明らかにした（Oda et al., 2017 Sports Medicine）アキレス腱断裂経験者における断裂脚のアキレス腱のスティフネスの低下が弾性の低下によるものか、アキレス腱の弛みの増加による力の伝導効率の低下も相まっているか検討することを目的としました。その結果、断裂脚のアキレス腱のスティフネスの低下は、弾性の低下と弛みの増加が相まっていることが明らかになりました。

私は、教員として教壇に立つ傍らアスレティックトレーナーとしてアスリートに対してストレングストレーニングやリコンディショニングを行っております。これまで、「現場での疑問を研究し、研究で明らかになったことを現場に還元する」ことを心がけてまいりました。今後も、アスリートに対してより良い指導ができるように研究活動とトレーナー活動を継続していく所存です。この度は、誠にありがとうございました。